



小郡市立小郡中学校

令和5年9月7日



小郡中学校だより

第188号

校長 船津 聡 哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

全国学力・学習状況調査について① 【全国学力調査について】

文部科学省が実施しました「全国学力・学習状況調査(国語・数学・英語)」〈令和5年4月18日、3年生実施〉の結果についてお知らせします。それぞれの個人票は本日お配りしていますので、今号では、それぞれの教科の領域等に関する全体的傾向をお知らせすることにします。

【全国学力調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【全国学力調査の内容(中学校)】

① 教科に関する調査(中学校第3学年を対象とし、調査教科は国語、数学及び英語)

出題内容は次の(ア)と(イ)を一体的に問うもの。

(ア)身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できているようになっていくことが望ましい知識・技能等

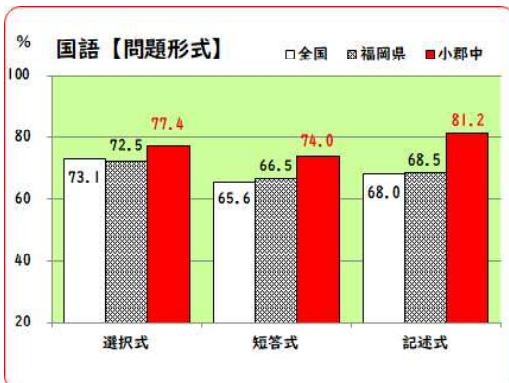
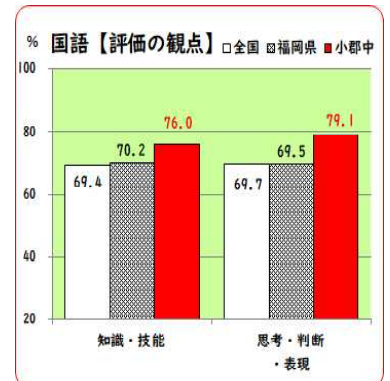
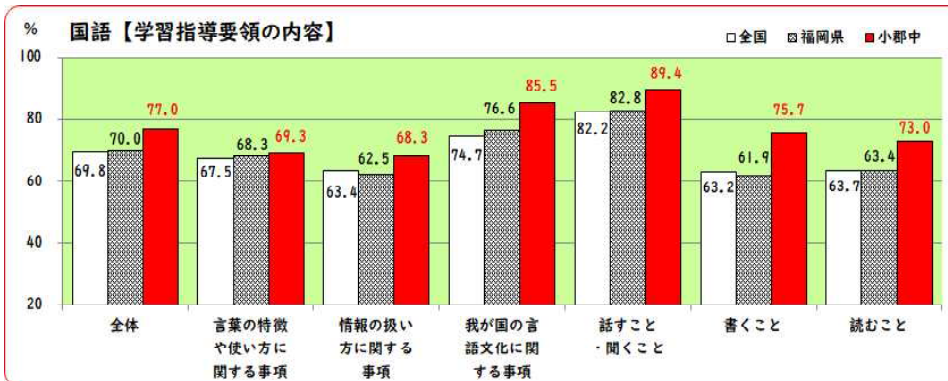
(イ)知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等

② 質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施)

本年度の主な調査項目は以下のとおり。

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等
- ・部活動
- ・地域や社会に関わる活動の状況等
- ・ICTを活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等

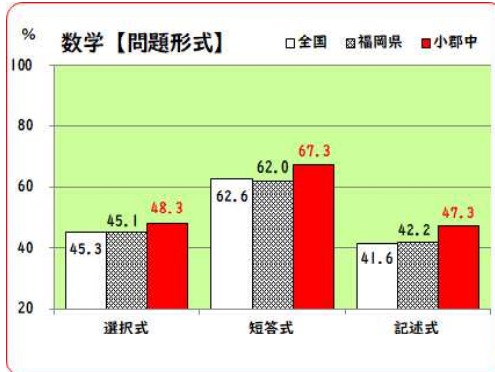
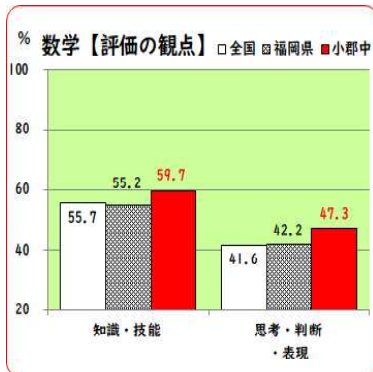
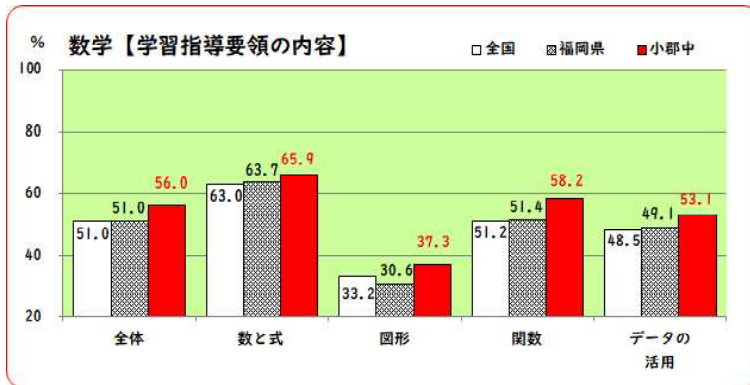
学力検査の結果〈国語〉



国語については、全国・県平均を7ポイント上回る結果となりました。また、正答率すべてにおいて全国・県平均を大きく上回ったことは素晴らしいことです。課題(正答率が低い問題)としては、「情報と情報との関係を明確にして話や文章で表現すること」「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること」が挙げられます。文章の内容を理解するだけでなく、自分も持っている知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることが求められています。学校としても「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用で

きるように指導していきたいと考えています。質問紙調査でも、「国語の勉強が好き(本校77%)」「国語の勉強は大切(本校95%)」と全国・県平均を大きく上回っており、さらなる向上が期待されます。自分の課題は何なのかを明確にして、これからの学習に粘り強く取り組んでほしいと思っています。

学力検査の結果〈数学〉

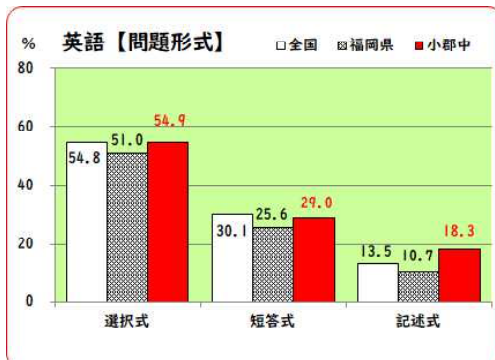
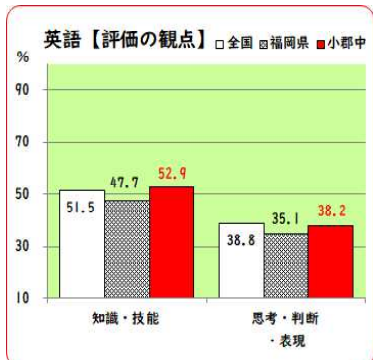
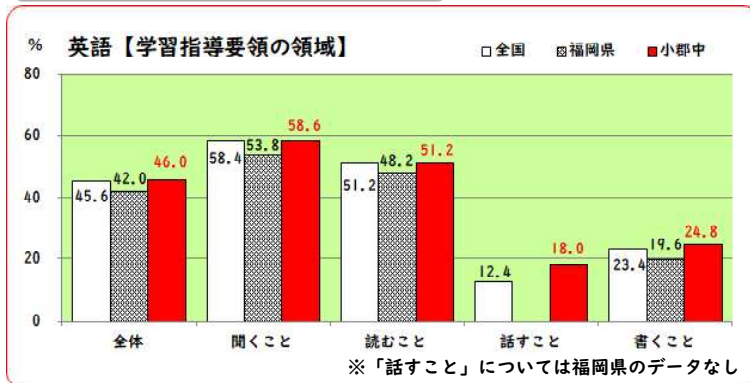


数学についても、全国・県平均を5ポイント上回る結果となりました。また、正答率すべてにおいて全国・県平均を上回り、着実な学力の向上が見られます。正答率が全国・県平均を下回った問題としては、「-5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ」「空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ」問題でした。また、課題(正答率が低い問題)としては、「条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を証明を振り返って読み取ること(図形)」

「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること(データの活用)」が挙げられます。学校としても証明を振り返り図形の性質を論理的に考察する活動の充実、データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する活動の充実を図っていきます。質問紙調査では、「数学の

勉強が好き(本校50%)」「数学の勉強は大切(本校82%)」と全国・県平均を若干下回り課題となりましたが、「今回の数学の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた生徒は74%(全国57%)で大きく上回りました。今後も数学の有用感を感じ得る授業、基礎基本の確実な定着と多様な考え方・解法を粘り強く考える・練り上げる活動を充実させる授業づくりをめざしていきます。

学力検査の結果〈英語〉



英語については、全国・県平均を若干上回りました。ただ、「思考・判断・表現(コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、理解したり、表現したり伝え合ったりすること)」では僅かではありますが全国・県平均を下回りました。課題(正答率が低い問題)としては、「短い文章の概要を捉えること(読むこと)」「文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くこと(書くこと)」「即興で伝え合うこと(話すこと「やり取り」)」が挙げられます。学校としても音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を理解させるだけでなく、実際のコミュニケーションにおいて活用できるように、既習事項を繰り返し活用し定着を図り、言語活動を工夫していきたいと考えています。質問紙調査では、「英語の勉強が好き(本校46%)」「英語の勉強

は大切(本校87%)」と全国・県平均を若干下回り課題となりました。今後も題材を通じて生徒に興味を持たせる活動を仕組みながら達成感を味わうことのできる授業づくりをめざしていきます。

☆3年生は着実な学力の向上が見られ、うれしく思います。本校では、この結果を対象学年のみの学力とせず、全学年の指導に活かしていきますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



小郡市立小郡中学校

令和5年9月7日



小郡中学校だより

第189号

校長 船津 聡 哉

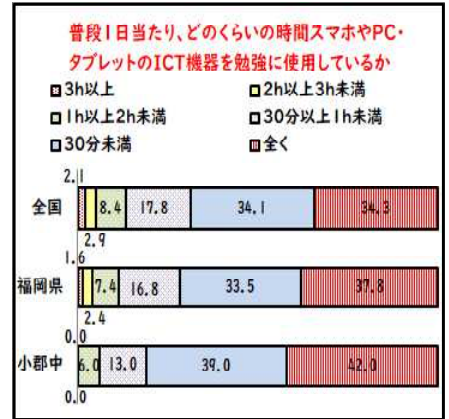
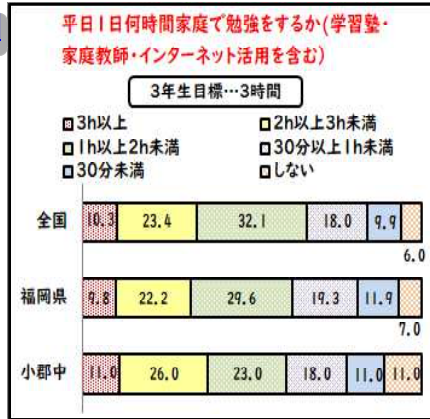
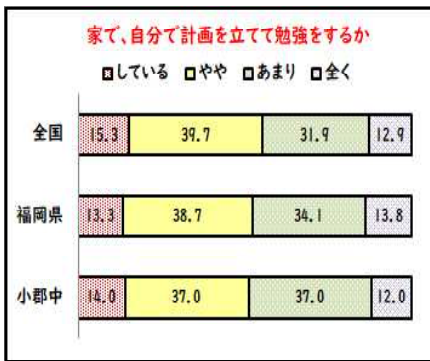


学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

全国学力・学習状況調査について② 【質問紙調査調査について】

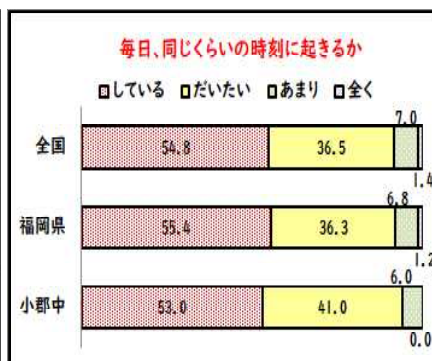
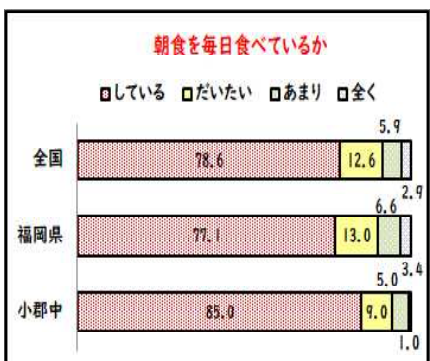
前号では、「全国学力・学習状況調査」の学力調査の結果をお知らせしました。学校としても子どもたちの学力における課題を全職員で共有し、その課題克服に向けて取り組んでいきます。そのためには、基礎・基本の徹底を大切にしつつも「理解・思考」型の学習を重視し、子どもたちの思考力・判断力・表現力を鍛えていく授業づくりをしていこうと確認しているところです。「全国学力・学習状況調査」では、学力の他に、学習習慣や生活習慣など、学習状況に関する質問紙調査(3年生対象)も行われています。今号では、子どもたちの学習習慣や生活習慣において、意識していただきたい項目をいくつか抜粋してお知らせします。

学習時間(家庭学習)について



「家で、計画を立てて勉強している」では、全国・県平均並みですが、「平日1日の家庭学習時間(塾や家庭教師、インターネット活用を含む)」では、40.0%の生徒が1時間以内というのは明らかに勉強不足と言えるでしょう。本校は3年生の学習時間の目標を3時間としています。ぜひ、今までの自分を振り返り、家庭学習時間を確保してほしいと思っています。ただ、【学習効果＝学習時間×学習方法】と言われるように、学習時間が多くても学習方法がまずければ学習効果は上がりませんし、学習方法がよくても学習時間が足りなければ学習効果は上がりません。学習時間を増やすことと、方法を工夫することを意識してください。「どのくらいの時間スマホやPC・タブレットのICT機器を使用しているか」では、全国・県平均を下回りましたが、配られているタブレットには自主的に学習できる教材も入っていますので、自分の学習の課題を明確にして、効果的に活用してください。ただ、わからないことを放置しない習慣をつけるようにしましょう。『わからないことをそのままにしない』を合言葉に、その日のうちに「わかった!できた!」と実感する粘り強い学習を続けてほしいと思っています。

基本的な生活習慣について

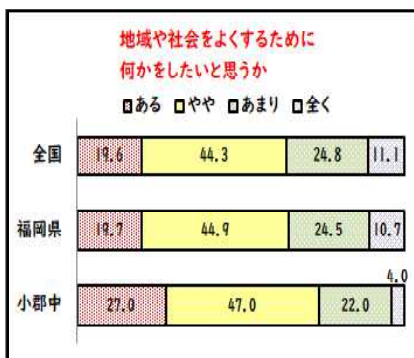
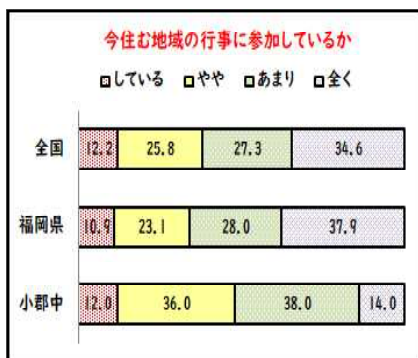


「朝食を毎日食べているか」は、全国・県平均を上回っていますが、6.0%の生徒は欠食と言えます。きちんと朝食を食べている生徒の学力は高いというデータもあります。健康面、学習への集中力の面からも、毎朝朝食をきちんと食べるようにしてください。「毎日、同じくらいの時間に起きるか」では、くしている)

〈だいたい〉と答える生徒が例年より増えました。睡眠時間はバラバラでも起きる時間をそろえることが大切だと言われています。起床の準備を整えるホルモン〈コルチゾール〉の分泌時間がそろい、目覚めがスッキリなのです。再度、自分の生活をしっかり振り返り、基本的な生活習慣の確立をめざしましょう。

社会や地域への関心について

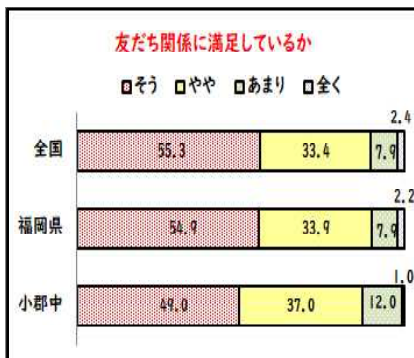
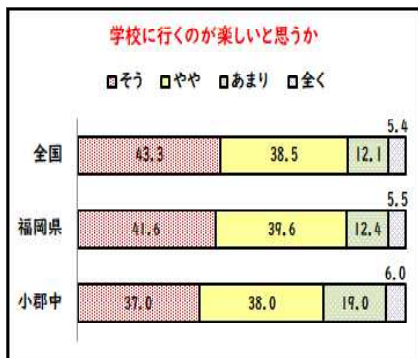
※「地域や社会をよくするために何かをしたいと思うか」は本年度からの調査項目



新型コロナウイルス感染症の影響で人と関わるのが制限される日々が続きましたが、「地域の行事に参加しているか」や「地域や社会をよくするために何かをしたいと思うか」は〈ある〉〈やや〉と答える生徒がとても増えたことは、うれしいことです。地域の行事等に参加したり、社会状況を知り、自分との関係性を考えることは、将来像が描きやすくなったりします。学力向上だけではなく、自分の生き方を見つめるためにも、日頃から地域(人)とのつながりを大切にし、社会情勢にも目を向けたいものです。

学校生活に関することについて

※「友だち関係に満足しているか」は本年度からの調査項目

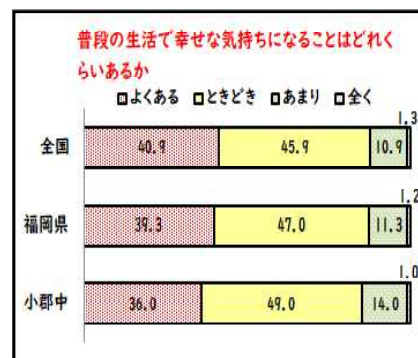
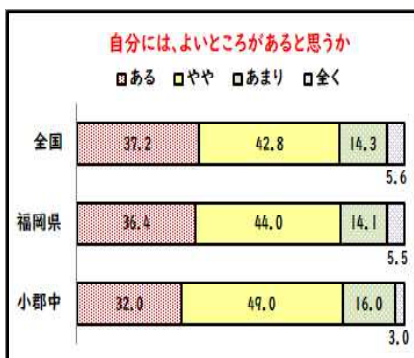
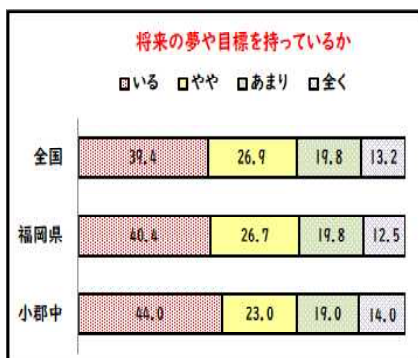


「学校に行くのは楽しい」は、〈そう〉〈やや〉と回答した生徒は例年並みとなりましたが、全国・県平均を下回りました。また、「友だち関係に満足しているか」についても〈あまり〉〈全く〉と回答した生徒が13.0%と気になる結果でした。感染症の長期化で、友だち(人)との関わる経験や感動体験が少なかったこともあるかも

しませんが、「仲間づくり」や「仲間とのつながり」を合言葉にしている小郡中にとっては、大きな課題ではないでしょうか。今後も貢献感や達成感を感じられる体験を積みながら、自己有用感や自尊感情を高め、個々の自己実現が図られるように支援していきたいと思えます。

自分に関することについて

※「普段の生活で幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」は本年度からの調査項目



「将来の夢や目標を持っている」「自分には、よいところがある」では、〈いる〉〈やや〉と回答した生徒は例年並みとなりました。ただ、注目したいのは、〈あまり〉〈全く〉と回答した生徒も多いという点です。また、「普段の生活で幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」についても全国・県平均を若干下回りました。学校・家庭・地域がそれぞれの立場で意識して、子どもたちに関わっていくことが必要だと強く感じています。学校は、今、レジリエンス(精神的回復力・復元力)や非認知能力(やり抜く力・協働する力・自分をコントロールする力)の育成を合言葉に取り組んでいます。レジリエンスや非認知能力は学力以外の力ですが、子どもの成功や学力向上につながる重要なものです。家庭でも意識していただきたいと思っています。



小郡市立小郡中学校 令和5年9月14日



小郡中学校だより 第190号

校長 船津聡哉

学校教育目標 ~夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成~

自分たちの手づくりあげた第44回体育大会!



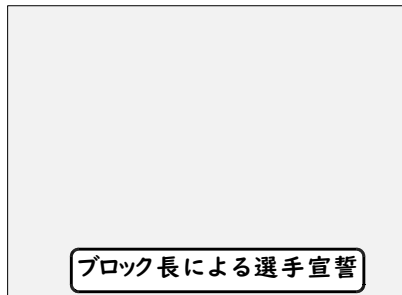
9月10(日)に第44回小郡中体育大会を開催することができました。たくさんのご来賓、保護者や地域の方々に見守られる中、3人のブロック長による堂々とした選手宣誓で幕が開き、半日の開催ではありましたが、一人ひとりが全力を尽くしてがんばる姿が終始見られ、笑顔あふれる体育大会となりました。

この体育大会に向けての準備や練習の時間は短く、しかも暑さや感染症対策に配慮しながらの練習は大変だったと思います。体調不良等で参加を断念せざるを得なかった仲間も多かったと思いますが、生徒のみなさんのすばらしい団結力と集中力でリーダーを中心に、体育大会のスローガン『挑戦~we can do it~』を意識した、見事な体育大会を自分たちの手づくりあげてくれたことをうれしく思います。勝敗はつきましたが、最後まであきらめずに一所懸命に競技・演技する姿は、勝敗に関わらず、どれも美しく、見ている私たちも心が躍りました。

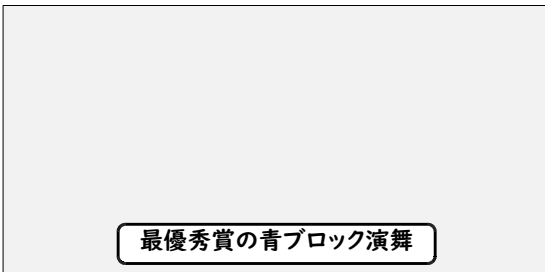
特に体育大会の見所は、オゴ中伝統のブロック演舞〈ソーラン節〉です。ブロック長やブロックリーダーを中心に、どのブロックも創意工夫を凝らした演技を披露してくれ、短期間でよくここまで仕上げたものだと感じました。毎年このブロック演舞に懸ける各ブロックの思いは熱く、心中期するものがあったと思いますが、今年も一体感や連動性、場面転換、隊形の工夫など、気持ちが込められたブロック演舞でした。これまで粘り強く取り組んできた各ブロックのリーダーのみなさんに敬意を表したいと思います。

このようにブロック演舞をはじめ、様々な演技や応援を通して、協力することの心地よさ、集団の可能性の大なることを学んだことでしょう。また、体育大会を終えて、充実感・満足感を味わい、やればできるといふ自信をもった人も多かったのではないのでしょうか。これもまた、体育大会実行委員長を中心とした拡大実行委員のみなさんが積極的に動いてくれたからだと思います。本当にありがとうございます。私は、体育大会は個人のがんばりもさることながら、「集団の美」の表現・競演が神髄だと思っています。また、「一人ひとり」は微力かもしれないが、無力ではない。それどころか集団の力が結集されれば大

体育大会総合成績結果		
総合優勝	赤ブロック (1-1,2-1,2-2,3-3)	
体育大会学年別成績(優勝学級)		
1年生	2年生	3年生
1年2組(白)	2年2組(赤)	3年1組(白)
体育大会ブロック演舞結果		
最優秀賞	青ブロック (1-3,2-3,3-2)	



ブロック長による選手宣誓



最優秀賞の青ブロック演舞



赤ブロック演舞



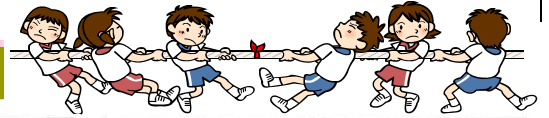
白ブロック演舞

きな力になり、大きな感動を与えてくれる」ということも再認識させられた体育大会でした。この体育大会を契機とし、学級内に、あるいは学年・学校内に芽生えたよい雰囲気、よい流れ、よい勢いを生かして今後も大きく成長するであろうみなさんの姿を楽しみにしています。

ご来賓の方々をはじめ、地域・保護者のみなさまには、早朝よりご臨席を賜り、誠にありがとうございました。みなさまのご声援は温かく、生徒たちも心強く感じたことでしょう。生徒たちのがんばりや成長をぜひ誉めていただきたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力のほどをよろしく願います。ご来賓のみなさまからいただいた感想の一部紹介します。

- 生徒たちのお互いに協力し合う姿、全力を發揮しようとする姿がとてもすばらしかった。
- 笑顔いっぱい、自信もって活動していました。感動をありがとうございました。
- それぞれの役割を果たしながら自主的に行動していた。「つながり」を感じました。
- アナウンス係の実況、一等賞！楽しそうにアナウンスする姿が印象的でした。
- 学校全体がひとつになっていると感じました。暑期中、生徒たちの勢いを感じました。

体育大会を終えて…体育大会実行委員長より



体育大会を終えて ()
練習が始まった頃は、ス～ス～に練習が進むのが
声を出す場面でも、盛り上がりも足らなかり課題が
多くありました。そんな中、熱中症対策や突然の雨に
予備がうまくいかなくて、日を重ねていくうちに
声が出て、みんなこの体育大会つくってくださ
るという想いが強まっていたと思います。体育大会スローガ
ン『挑戦～We can do it～』のように、当日は『あんなに
『絶対できるよ』』という声掛けがなされ、学年を超えて、アスリート
の懸命な挑戦ぶり、他のアスリートにも自分と違うところ、アスリート
ならではの体育大会でした。

体育大会を終えて ()
2週間という短い期間で盛り上げたものが
たくさんあると思います。その中で特に全員が
演舞や綱引き、リレーなどで全力で挑戦する
姿が印象的でした。最初は全力で声を出して
いる人やとろあそびやうそをいっている人も
でも少しづつ声も出てきてみんなが楽しんで
練習する姿が見られました。今回の体育大会と
通じてみんながたくさん成長できたと思います！
みなさんのおかげで最高の体育大会になりました！

体育大会を終えて ()
私は、体育大会を通して当日来たとき
来たばかりの人があんなに、その人の行末で
かえり、よい報告をしたという姿が
見られ、仲間の絆がより深まったなと
思いました。そして、みんなが、仕事や役割
を、全力で、責任を持って、行っている所
が、良い所だなと思いました。みなさん、日常生
活や文化発表会に向けていきましょう！

1年競遊

2年競遊

3年競遊

長縄跳

綱引き

ブロック対抗リレー

体育大会が終わったばかりですが、文化発表会に向けて動き始めました。9月12日(火)には本年度の文化発表会のスローガン『継唱』が伝えられました。このスローガンの設定理由を何回も読んでほしいと思っています。みなさんの粘り強い取り組みに期待しています。



小郡市立小郡中学校

令和5年9月29日



小郡中学校だより 第191号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

時は過ぎ去るものではなく、積みりゆくもの

体育大会が終わり、3週間が経とうとしています。体育大会で得られた経験が学級の仲間とのつながりを一層深めてくれたのではないのでしょうか。体育大会でつくってきた学級や学年そして学校の仲間のつながりを文化発表会でさらに深め、つながることの心地よさを味わってほしいと強く願っています。

さて、今号は『砂時計の詩』を紹介したいと思います。これは島根県大田市にある「仁摩サンドミュージアム」で観光スポットとしても有名な一年計砂時計く1トンの砂を一年かけて落とす世界最大の砂時計で「砂暦」と名付けられています。実際に見た人が感動されてつくられた詩ではないかと思ひます。文化発表会に向けて合唱のとりくみがすすんでいると思ひますが、互いに信頼で結ばれた学級で、感動の体験を共有し、すばらしい時を刻んでいってほしいとの願いを込めて、みなさんに紹介しました。「自分の足跡、生きた跡というのは全部積みもっていくもの」…時は過ぎ去るものと考へがちですが、積みもっていくものだと意識すると大切な時間を有意義に過ごそうという気持ちになります。一瞬一瞬、一日一日と進みゆく時間を自分の心や体に積みもらせていくことが大切なのです。それがやがて豊かな心やよき人生を紡いでいってくれることにつながるはずです。

砂時計の詩

1トンの砂が、時を刻む砂時計があるそうです。その砂が、音もなく巨大な容器に積みもっていく様をみると時は過ぎるものではなく心のうちにからだのうちに積みりゆくもの、ということを実感させられるそうです。時は過ぎ去るものではなく心のうちにからだのうちに積みりゆくもの

「産経新聞 朝の詩」読者投稿の詩

「砂暦」〈仁摩サンドミュージアム公式Webサイトより〉

本校生徒の活躍の紹介〈各種大会の結果〉

福岡県新人水泳競技大会及びうきは市・小郡市三井郡(ブロック)新人陸上競技大会、筑後地区新人陸上競技大会の結果は、表の通りです。出場した選手のみなさんは、最後まであきらめない姿勢で試合に臨み、健闘してくれました。よくがんばりました。また、9月2日(土)に筑紫野市文化会館で開催された管打楽器ソロコンテストには本校2年生のんが、出場し、木管部門で2位というすばらしい結果を残しました。入賞、おめでとう。

筑後地区新人陸上競技大会より

福岡県中学校新人水泳競技大会結果

令和5年9月2日(土)福岡市立総合西市民プール	
女子 50m自由	2位
女子 100m自由	3位

うきは市・小郡市三井郡中学校新人陸上競技大会結果

令和5年9月16日(土)小郡市陸上競技場

共通男子走幅跳	1位
1年女子100m	1位
1年男子100m	2位
	3位
2年女子800m	1位
	2位
2年女子200m	1位
共通女子400リレー	1位
共通男子400リレー	3位

筑後地区中学校新人陸上競技大会結果

令和5年9月27日(水)久留米陸上競技場

共通男子走幅跳	惜敗
1年女子100m	惜敗
1年男子100m	惜敗
2年女子800m	7位
	惜敗
2年女子200m	惜敗
共通女子400リレー	惜敗

うきは市・小郡市三井郡中学校新人大会迫る！

令和5年度 中体連新人ブロック大会 本校試合会場

明日9月30日(土)に新人ブロック大会が開催されます。3年生が引退しておよそ2か月、1・2年生の若いチームですから、未完成的部分がほとんどであることは当然だろうと思います。当日は、どこまでも勝利をめざしてがんばってもらいたいのはもちろんですが、一方では目先の勝敗だけにこだわらず、冷静に自分や自分たちのチームの力を振り返る1日にしてもらいたいとも思います。ですから、この新人大会の目標は、自分や自分たちのチームの弱いところ、課題は何か、今後どこを鍛えていけばいいのか、逆によさ、強みは何か、どこを伸ばせばよいのかをしっかりとつかむことなのです。本番は来年の夏の大会で、10か月先にあります。今後のプレーや練習にしっかりと生かすためにも、この新人大会で多くを学んできてほしいと思います。

保護者のみなさまには、日頃より本校部活動へのご理解とご協力をいただき、感謝しております。子どもたちは全力を尽くしてくれると思いますので、ご声援をよろしくお祈りします。なお、大会についての詳細は各顧問より連絡しておりますので、ご確認をお願いします。

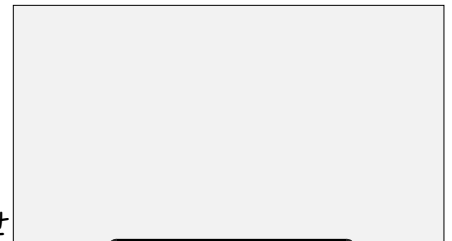
部活動名	期日	会場
ソフトテニス 男	9月30日	小郡市運動公園テニスコート ※予備日…10/1 小郡市運動公園テニスコート
ソフトテニス 女	9月30日	小郡市運動公園テニスコート ※予備日…10/1 小郡市運動公園テニスコート
サッカー	9月30日	うきは市船越運動公園 ※予備日…10/1 うきは市船越運動公園
ソフトボール	9月30日	うきは市スポーツアイランド ※予備日…10/1 うきは市スポーツアイランド
バスケットボール 男	9月30日	大刀洗勤労者体育センター
バスケットボール 女	9月30日	大刀洗中学校体育館
バレーボール 女	9月30日	うきはアリーナ
卓球 男	9月30日	小郡市体育館
卓球 女	9月30日	小郡市体育館
剣道	9月30日	三国中学校体育館
軟式野球	9月30日	小郡市野球場 ※予備日…10/1 小郡市野球場

〈保護者のみなさまへ〉「地区別学習会」のご出席、ありがとうございました

9月26日(火)と28日(木)に教育条件整備に関わる「地区別学習会」を小学校及び中学校体育館で行いました。ご出席していただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。

小郡市では、1970年代から部落差別により教育の機会を奪われて十分な教育を受けることができなかった親たちの「せめてわが子だけは自分と同じ思いや状況に立たせたくない」

「十分な教育を受けさせたい」という切実な思いとそれにこたえようとする学校、保護者、行政などとの連携から教育条件整備運動が始まりました。そして、2008年度から、この教育条件整備運動(署名活動)は、「教職員配置の充実(増員)」「高校奨学金制度の改善・充実」「学び場支援事業をはじめとする社会教育制度の充実」など、子どもたち一人ひとりの自己実現を支援する「人権のまちづくり」の取組へと発展・定着し、市内で毎年3万筆を超える署名をいただいております。ただ、2020年より「地区別学習会」や「個人署名活動」は感染症の影響で休止し、趣旨に賛同していただいた組織の代表者による団体署名という形で進めてきました。昨年度は「地区別学習会」を開催することができ、参加していただいた方の個人署名とPTAや区長会、校区事業所などの代表者による団体署名をお願いしました。小郡市と福岡県教育委員会への要請行動には多くの「市民の声」が必要不可欠です。そこで、本年度は各家庭をまわっての署名活動にとりくみ、趣旨に賛同いただく方の個人署名と組織の代表者による団体署名をお願いしていきます。各家庭に配布されます「すべての子どもたちの教育条件に関する署名についてのお願い」に詳細を記載していますので、すべての子どもたちへの学力保障、生徒指導、進路保障を充実させるためにも、ご協力をよろしくお祈りします。



「地区別学習会」の様子